



国際微生物学連合 2011 会議

International Union of Microbiological Societies 2011 Congress

— The Unlimited World of Microbes, 際限ない微生物の世界 —

会期： 2011年9月6日(火)～16日(金)

2011年9月6日(火)～10日(土)

International Congress of **Bacteriology** and **Applied Microbiology**

International Congress of **Mycology**

2011年9月11日(日)～16日(金)

International Congress of **Virology**

会場： 札幌コンベンションセンター、札幌市産業振興センター

主催： 日本微生物学連盟、日本学会会議 (後援：北海道、札幌市)

URL： <http://www.congre.co.jp/iums2011sapporo/>

国際微生物学連合 2011 会議開催にあたって

国際微生物学連合 2011 会議(IUMS2011)は、細菌学・応用微生物学、真菌学、ウイルス学の3部門で構成される国際微生物学連合(International Union of Microbiological Societies)による国際会議であり、我が国では21年ぶり(ウイルス学部門は27年ぶり)の開催となります。

テーマを「The Unlimited World of Microbes, 際限ない微生物の世界」として、細菌学、応用微生物学、真菌学、ウイルス学、寄生虫学の各領域とそれら領域の間を繋ぐ境界領域の共催のシンポジウムを多数企画し、対象微生物領域を越えた協奏的、融合的研究の促進を目指します。

この会議を日本で開催することは、我が国の微生物学研究の世界への大きなアピールに繋がると共に、国内外のトップレベルの研究者と直接交流する絶好の機会となり、我が国の微生物学研究を一層発展させる契機となります。

この大変貴重な機会に、是非皆様の積極的な御参加、御支援をお願い申し上げます。

日本微生物学連盟理事長 野本 明男

国際微生物学連合 2011 会議 NOC 広報委員長 三上 襄

IUMS2011 National Organizing Committee

Chairperson： 富田房男 (北海道大学名誉教授)

Vice-Chairperson： 篠田純男 (岡山大学名誉教授、岡山理科大学教授)

Member： 平山壽哉、堀井俊宏、今中忠行、岩本愛吉、春日文子、三上 襄

光山正雄、野本明男、上田一郎

国際微生物学連合 2011 会議事務局

〒102-8481 東京都千代田区麹町 5-1 弘済会館ビル (株)コングレ東京本社内

TEL.03-5216-5318 FAX.03-5216-5552 E-mail：iums2011@congre.co.jp

国際微生物学連合 2011 会議

各部門の御案内

[Bacteriology and Applied Microbiology 部門]

Bacteriology 部門では、細菌学会主催のシンポジウム 3 3 テーマが組まれています。細菌自体を遺伝子、構造、生理、毒素などの産生分子などの側面からその機能・調節を解明した研究、細菌と宿主の攻防を分子病態や生体防御から解明した研究、細菌感染症の問題、その治療として新規抗菌物質や薬剤耐性の問題、予防の側面からワクチンやプロバイオティクスに関する研究など、細菌学に関する先進的な研究者を迎え、講演をしていただきます。その一方、植物・海洋・土壌細菌といったトピックも企画されています。また、感染症診断に関する臨床微生物学会との共同シンポジウム、細菌分類学に関する生物資源学会との共同シンポジウム、日本食品微生物学会主催のシンポジウム、さらに、日本細菌学会企画ワークショップとして、注目の細菌について 5 テーマを企画しました。

国際微生物学連合 2011 会議は、国内外のトップレベルの研究者との貴重なふれあいの機会でもあり、さまざまな研究分野のトレンドを理解できる場です。是非、札幌でのご参集をお願い申し上げます。

国内 Bacteriology プログラム部会委員長 笹川 千尋

Applied Microbiology 部門では、日本農芸化学会、日本放線菌学会、日本乳酸菌学会、日本生物工学会等の協力を得ながら 30 以上のシンポジウムを企画しております。麹菌、酢酸菌、酵母等の伝統的醸造用微生物に関するテーマや、アミノ酸発酵・バイオリファイナーとといった工業用微生物に関するテーマ等、微生物の応用に関するあらゆるセッションを企画しております。応用微生物学分野における最新の情報を得る機会であるとともに、研究者の交流の場としても活用して頂ければと思います。ぜひご参加下さい。

国内 Applied Microbiology プログラム部会委員長 清水 昌

[Mycology 部門]

IUMS2011 の mycology 部門では日本菌学会、医真菌学会、微生物資源学会、キノコ学会、マイコトキシン学会の 5 学会を中心に関連領域の専門の先生方による多数のシンポジウムを企画しました。菌の基本的な性質、分類から病原性・マイコトキシン、あるいはキノコによる probiotics までさまざまなテーマを準備しています。これらは同じ真菌研究であってもとかく敷居の高くなりがちな関連領域に接する貴重な機会になると考えています。ポスター形式による発表も十分なスペースを用意しました。皆様方のご参加をお待ちしております。

国内 Mycology プログラム部会委員長 亀井 克彦

[Virology 部門]

IUMS が主催する 3 つの国際会議を先導するかたちで最初に産声をあげた国際ウイルス学会議 (International Congress of Virology; ICV) は、2011 年 9 月 11-16 日に札幌で開催される会議で、15 回目を数えます。これまでに日本では、1984 年 9 月 1-7 日に、仙台で第 6 回目の会議が開催されています。

常にウイルス学研究の重要な情報交換の場として機能してきた本会議は、今回、札幌の地に、3 名のノーベル賞受賞ウイルス研究者をお招きします。加えて、システムウイルス学、ポストゲノム時代のウイルス学などと銘打った 12 のプレナリー講演と 75 を超えるシンポジウムを企画し、あらゆる点で旧来の境界や範疇を超えつつあるウイルス疾患とウイルス学について、先端的なディスカッションができるような共鳴場を提供できるように工夫をこらしているところです。この会議はひろくウイルス学に関わる研究者に開かれたものであり、澄んだ北の大地の雰囲気の中で、活発な議論が展開されることを切に期待致します。

国内 Virology プログラム部会委員長 永田 恭介